



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カカコム

コード番号 2371 URL <http://corporate.kakaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 実

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員管理本部長 (氏名) 平井 裕文

TEL 03-5725-4554

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,808	15.8	3,934	14.3	3,936	14.2	2,291	14.5
23年3月期第2四半期	7,603	28.1	3,442	52.4	3,446	52.3	2,000	52.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,302百万円 (14.9%) 23年3月期第2四半期 2,003百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	39.50	39.42
23年3月期第2四半期	34.68	34.54

当社は平成23年8月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました^が、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	25,061	15,589	61.6
23年3月期	23,324	14,292	60.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 15,435百万円 23年3月期 14,149百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3,800.00	3,800.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成23年8月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました^が、平成23年3月期の期末配当金については、当該株式分割前の実績を記載しております。なお、平成24年3月期の期末配当金は未定です。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	19.0	9,500	21.0	9,500	20.8	5,600	22.3	96.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	58,047,600 株	23年3月期	57,956,400 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	58,006,452 株	23年3月期2Q	57,697,200 株

当社は、平成23年8月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記数値とは異なる場合があります。
2. 当社は、平成23年8月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものとして1株当たり四半期(及び当期)純利益金額を算定しております。
3. 平成24年3月期の期末配当予想に関しましては、決定次第開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

わが国のインターネット利用環境につきましては、平成23年6月末時点のブロードバンド契約数が3,552万契約となり、とりわけ無線ブロードバンドサービスであるWiMAXに代表されるBWA（広帯域移動無線アクセスシステム）の契約数が、前年同月比378.1%増の103.6万契約となり（※1 総務省調べ）、モバイルデータ通信の普及が進んでおります。また、2010年度の国内市場におけるスマートフォンの出荷台数は前年度比391.2%の850万8,000台となり（※2 矢野経済研究所調べ）、スマートフォンの利用が急速に拡大しております。このような状況のもと、当社グループにおきましては、購買支援サイト『価格.com』を始めとして、ランキングとクチコミのグルメサイト『食べログ』など、複数のグループサイトが月間利用者数及びページビュー数を伸ばす結果となりました。各グループサイトがそれぞれグループ全体の業績を牽引することで、日本を代表するインターネット・メディア・カンパニーとしての地位を確立しつつあります。

平成23年9月度における当社グループ運営の各サイト利用状況は、購買支援サイト『価格.com』のパソコンによる月間利用者数約2,710万人、スマートフォンによる月間利用者数約273万人、フィーチャーフォンによる月間利用者数約252万人、月間総ページビュー数約8億5,081万ページビュー、ランキングとクチコミのグルメサイト『食べログ』のパソコンによる月間利用者数約1,977万人、スマートフォンによる月間利用者数約555万人、フィーチャーフォンによる月間利用者数約519万人、月間総ページビュー数約6億5,118万ページビュー、旅行のクチコミサイト『フォトラベル』のパソコンによる月間利用者数約423万人、フィーチャーフォンによる月間利用者数約26万人、月間総ページビュー数約3,511万ページビューとなり、グループ全体で月間利用者数約7,269万人、月間総ページビュー数約15億8,344万ページビューとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高8,808百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益3,934百万円（前年同期比14.3%増）、経常利益3,936百万円（前年同期比14.2%増）、四半期純利益は2,291百万円（前年同期比14.5%増）となりました。

※1 出所：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（平成23年度第1四半期（6月末）」（2011年9月30日発表）

※2 出所：㈱矢野経済研究所「スマートフォン市場に関する調査結果 2011」（2011年7月26日発表）

①インターネット・メディア事業

当第2四半期連結累計期間のインターネット・メディア事業は、ショッピング業務、サービス業務、及び食べログ業務で売上が堅調に増加いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、8,509百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益は3,880百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

[ショッピング業務]

当社運営サイト『価格.com』におけるショッピング業務におきましては、前連結会計年度の家電エコポイント制度による需要の反動で、利用者数の伸びは大きくなかったものの、購買率の向上等により手数料収入が増加いたしました。また2011年3月にリリースしたスマートフォン用サイトの利用者数が順調に増加し、モバイル経由での取引が増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,920百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

[サービス業務]

当社運営サイト『価格.com』におけるサービス業務におきましては、モバイルデータ通信の需要が高まる中、『価格.com』におけるモバイルデータ通信カテゴリをプロバイダカテゴリから独立させて、より利用しやすいサービス提供を行ったこと等の効果により、『価格.com』経由でのモバイルデータ通信の取次ぎ件数が増加し、手数料収入が増加いたしました。また、自動車保険資料請求数も増加したことから、増収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,598百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

[広告業務]

当社運営サイト『価格.com』における広告業務におきましては、2011年3月に発生しました東日本大震災の影響により、第1四半期会計期間の売上は低調に推移いたしましたものの、第2四半期会計期間には、高単価のタイアップ広告の販売が好調でした。その結果、全体としては、前年同期比で増収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,289百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

[食ベログ業務]

食ベログ業務におきましては、当社運営サイト『食ベログ』が提供する有料サービスを利用するレストランが増加したことにより、レストランからの手数料収入が増加いたしました。また、2011年4月にプレミアムクーポンサービスを開始し、食ベログのプレミアム会員サービスが充実したことから、プレミアム会員数が順調に増加し、会員収入が増加いたしました。さらに、8月には、食ベログのスマートフォン用サイトをリリースし、Androidユーザーも快適に食ベログを利用できる環境が整ったことから、利用者数も大幅に増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,028百万円（前年同期比61.5%増）となりました。

[旅行・不動産等業務]

旅行・不動産等業務におきましては、連結子会社フォートラベル㈱運営サイト『フォートラベル』におきまして、前連結会計年度に実施した旅行ガイドページのリニューアル等の効果により利用者数が増加し、宿泊予約数等が増加いたしました。また、当社運営サイト『スマイティ』からの収入が大幅に増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は672百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

②ファイナンス事業

当第2四半期連結累計期間のファイナンス事業は、保険代理店業務及び、外国為替証拠金取引等業務ともに増収となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は298百万円（前年同期比23.1%増）、営業利益は52百万円（前年同期比84.4%増）となりました。

[外国為替証拠金取引等業務]

連結子会社㈱カカコム・フィナンシャルによる外国為替証拠金取引等業務において、為替相場のボラティリティーが高まったことで、『kakaku FX』経由の取引量が増加いたしました。また、米ドル/オフショア中国人民元の取り扱いを開始いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は116百万円（前年同期比29.0%増）となりました。

[保険代理店業務]

連結子会社㈱カカコム・インシュアランスによる保険代理店業務において、前連結会計年度に開始いたしました保険の一括見積比較サービスを利用したユーザーによる、火災保険の契約件数が増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は182百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態に関する分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は25,061百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,737百万円増加いたしました。現金及び預金が1,410百万円増加したこと、および外国為替証拠金取引等における顧客及び金融機関との取引が増加したこと等により外国為替証拠金取引等評価勘定が582百万円増加したことが主な要因となっております。

(負債)

負債合計は9,472百万円となり、前連結会計年度末と比較し439百万円増加いたしました。外国為替証拠金取引等における顧客及び金融機関との取引が増加したこと等により外国為替証拠金取引等評価勘定が583百万円、預り保証金が415百万円増加した一方で、法人税等の支払いにより未払法人税等が615百万円減少したことが主な要因となっております。

(純資産)

純資産は15,589百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,297百万円増加いたしました。利益剰余金が1,190百万円増加したことが主な要因となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ1,158百万円増加し、15,634百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,236百万円となりました。

これは、主として税金等調整前四半期純利益3,936百万円を計上した一方で、法人税等の支払額2,160百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は163百万円となりました。

これは、主として事業拡大に伴うサーバー等の有形固定資産の取得による支出114百万円、サーバー等で使用するソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出70百万円を計上したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は914百万円となりました。

これは、主として配当金の支払による支出が1,099百万円を計上した一方で、新株予約権行使に伴う株式発行による収入95百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月12日に発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

1 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

当第2四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、以下のとおりであります。

1株当たり四半期純利益金額	6,935円73銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	6,907円38銭

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第2四半期連結会計期間の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、以下のとおりであります。

1株当たり四半期純利益金額	3,378円91銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	3,364円52銭

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,338,041	15,748,184
顧客分別金信託	3,302,000	2,892,050
受取手形及び売掛金	2,375,596	2,104,268
繰延税金資産	322,053	236,635
その他	1,483,828	2,581,436
貸倒引当金	△6,843	△6,024
流動資産合計	21,814,676	23,556,551
固定資産		
有形固定資産	368,279	484,470
無形固定資産		
のれん	360,674	309,075
ソフトウェア	382,321	340,539
その他	38,344	41,430
無形固定資産合計	781,340	691,044
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,661	1,211
その他	369,102	340,428
貸倒引当金	△11,334	△11,773
投資その他の資産合計	360,430	329,866
固定資産合計	1,510,050	1,505,381
資産合計	23,324,727	25,061,933
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,066,015	1,118,062
未払法人税等	2,197,292	1,581,336
預り保証金	3,796,992	4,212,643
賞与引当金	271,083	231,889
資産除去債務	7,733	—
その他	1,585,740	2,212,605
流動負債合計	8,924,858	9,356,536
固定負債		
繰延税金負債	52,432	48,705
資産除去債務	49,553	62,893
その他	5,682	4,132
固定負債合計	107,667	115,732
負債合計	9,032,526	9,472,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,299	833,392
資本剰余金	1,235,154	1,283,247
利益剰余金	12,128,695	13,318,791
株主資本合計	14,149,149	15,435,432
少数株主持分	143,050	154,232
純資産合計	14,292,200	15,589,664
負債純資産合計	23,324,727	25,061,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	7,603,750	8,808,182
売上原価	1,280,677	1,342,844
売上総利益	6,323,073	7,465,337
販売費及び一般管理費	2,880,631	3,530,647
営業利益	3,442,441	3,934,690
営業外収益		
受取利息	4,326	4,094
その他	883	330
営業外収益合計	5,209	4,425
営業外費用		
支払利息	61	266
株式交付費	750	1,065
為替差損	334	920
その他	5	61
営業外費用合計	1,152	2,314
経常利益	3,446,498	3,936,801
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,182	—
特別利益合計	5,182	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,722	—
減損損失	15,743	—
その他	1,786	—
特別損失合計	25,252	—
税金等調整前四半期純利益	3,426,428	3,936,801
法人税、住民税及び事業税	1,396,794	1,551,210
法人税等調整額	25,808	83,141
法人税等合計	1,422,603	1,634,352
少数株主損益調整前四半期純利益	2,003,824	2,302,448
少数株主利益	2,962	11,181
四半期純利益	2,000,861	2,291,267

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,003,824	2,302,448
四半期包括利益	2,003,824	2,302,448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,000,861	2,291,267
少数株主に係る四半期包括利益	2,962	11,181

(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	3,524,202	4,297,959
売上原価	386,324	432,337
売上総利益	3,137,877	3,865,621
販売費及び一般管理費	1,454,127	1,813,741
営業利益	1,683,750	2,051,880
営業外収益		
受取利息	2,242	2,113
その他	91	324
営業外収益合計	2,333	2,437
営業外費用		
支払利息	30	204
株式交付費	535	481
為替差損	—	857
その他	2	3
営業外費用合計	569	1,547
経常利益	1,685,514	2,052,770
特別損失		
減損損失	15,743	—
特別損失合計	15,743	—
税金等調整前四半期純利益	1,669,771	2,052,770
法人税、住民税及び事業税	781,710	967,217
法人税等調整額	△90,969	△118,056
法人税等合計	690,740	849,161
少数株主損益調整前四半期純利益	979,030	1,203,609
少数株主利益	3,769	9,043
四半期純利益	975,260	1,194,565

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	979,030	1,203,609
四半期包括利益	979,030	1,203,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	975,260	1,194,565
少数株主に係る四半期包括利益	3,769	9,043

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,426,428	3,936,801
減価償却費	191,276	182,279
減損損失	15,743	—
のれん償却額	51,599	51,599
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,234	△39,194
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,509	△379
受取利息及び受取配当金	△4,326	△4,094
為替差損益(△は益)	141	421
支払利息	61	266
株式交付費	750	1,065
売上債権の増減額(△は増加)	664,016	271,327
たな卸資産の増減額(△は増加)	△271	2,173
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,002	52,046
未払消費税等の増減額(△は減少)	△58,300	△64,314
未払金の増減額(△は減少)	△71,544	△43,447
前受金の増減額(△は減少)	12,483	△1,380
その他	△28,178	47,783
小計	4,177,133	4,392,953
利息及び配当金の受取額	3,588	3,977
利息の支払額	△62	△231
法人税等の支払額	△1,420,748	△2,160,040
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,759,909	2,236,659
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△95,925	△114,163
無形固定資産の取得による支出	△100,524	△70,091
敷金及び保証金の差入による支出	△79,716	△11,266
敷金及び保証金の回収による収入	136,714	36,794
資産除去債務の履行による支出	—	△4,750
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139,451	△163,477
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	90,000
株式の発行による収入	114,643	95,120
配当金の支払額	△689,137	△1,099,564
財務活動によるキャッシュ・フロー	△574,493	△914,443
現金及び現金同等物に係る換算差額	△141	△421
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,045,823	1,158,316
現金及び現金同等物の期首残高	9,190,382	14,476,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,236,206	15,634,651

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット ・メディア事業	ファイナンス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	7,361,110	242,640	7,603,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	960	—	960
計	7,362,070	242,640	7,604,710
セグメント利益	3,412,589	28,651	3,441,241

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,441,241
セグメント間取引消去	1,200
四半期連結損益計算書の営業利益	3,442,441

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「インターネット・メディア事業」セグメントにおいて、移転予定事務所の建物附属設備等に係る減損損失15,743千円を当第2四半期連結累計期間に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット ・メディア事業	ファイナンス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	8,509,528	298,653	8,808,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,509,528	298,653	8,808,182
セグメント利益	3,880,657	52,833	3,933,490

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,933,490
セグメント間取引消去	1,200
四半期連結損益計算書の営業利益	3,934,690

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。